第2次牧之原市環境基本計画を策定しました

1 環境基本計画とは

- (1) 目 ・環境の保全及び創造の観点から、総合的かつ計画的に市の施策及び各主体(市民・滞在者・事業者)の行動を推進します。
- (2) 位置付け ・第2次牧之原市環境基本計画は、牧之原市環境基本条例第10条 に基づき策定します。
 - ・牧之原市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)は、地球温暖化 対策の推進に関する法律第19条第2項に基づき策定します。
- (3) 期 間 ・平成29年度から平成38年度までの10年間とします。
- 2 市が目指す「望ましい環境像」

うみ・そら・みどりと共生するまち まきのはら

- 3 望ましい環境像の実現に向けた5つの分野別の基本目標と取組
- (1)【自然環境】里山・里地・里海と人をつなぐまち
 - ・鳥獣被害防止計画に基づき有害鳥獣の計画的な捕獲対策を進めます。
 - ・外来種対策として河川生育動物の実態調査を行います。
- (2)【資源循環】資源を大切にする心を育むまち
 - ・ごみの減量と資源有効利用のため古着等の回収を行います。
 - 不用品回収業者への立入検査や行政指導を行います。
- (3) 【生活環境】クリーン&グリーンを広めるまち
 - ・花の会や自治会などを支援し、市内の緑化を進めます。
 - ・空き家、空き地の適正な管理に向けて、助言や指導を行います。
- (4) 【地球環境】地球のために行動するまち
 - ・温暖化対策に役立つあらゆる「賢い選択」を促すクールチョイス運動を広めます。
 - ・エコアクション21に取り組むとともに、市内事業所への普及を図ります。
- (5)【環境教育】環境への想いをつなぎ育てるまち
 - ・学校や自治会などにおける環境教室を開催します。
 - ・環境活動団体の取組紹介の場づくりなど市民への情報発信を行います。
- ※ 「第2次牧之原市環境基本計画」の本編は、市のホームページに掲載するほか、 相良庁舎、榛原庁舎、相良図書館、榛原図書館及び各区の事務所に配置します。



第2次牧之原市環境基本計画

牧之原市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

【平成29年度~平成38年度】



| 牧之原市が目指す「望ましい環境像」















緑豊かな牧之原大茶園や雄大な海岸線など、牧之原市民が思いうかべる"ふるさとの風景、光、音色、香り"を守り、復元していくことで、潤いと安らぎに満ちた環境を創出し、次世代へと継承できる、愛着と誇りの持てるふるさとづくりを進めていく気持ちが込められています。

2 環境基本計画とは

目 的

▶ 環境の保全及び創造の観点から、総合的かつ計画的に市の施策及び各主体(市民・滞在者・ 事業者)の行動を推進します。

位置付け

- ▶ 第2次牧之原市環境基本計画は、牧之原市環境基本条例第10条に基づき策定します。
- ▶ 牧之原市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)は、地球温暖化対策の推進に関する法律 第19条第2項に基づき策定します。

钥 間

平成 29 年度から平成 38 年度までの 10 年間とします。

対象範囲

▶ 自然環境、資源循環、生活環境、地球環境、環境教育の5つの分野とします。

「うみ・そら・みどりと共生するまち まきのはら」の実現に向けた取組

基本目標 1 自然環境

■里山・里地・里海と人をつなぐまち

自然環境や生物多様性の保全、人と自然とのふれあ いの促進、景観・歴史文化などにも配慮した総合的な 住み心地の良さの向上など、本市の財産である豊かな 自然や風土を活かした、人と自然が共生するまちを目 指します。

個別	目標
----	----

- 1 里山・里地・里海を守る
 - 2 生きものを守り自然とふれあう
 - 3 景観・歴史文化を大切にする

環境指標 (抜粋)	現 状	目標	
			H38
地域での清掃ボランティア 活動の実施回数	33回/年	37回/年	40回/年
自然体験学習の実施	69回/年	75回/年	80回/年
自然環境の保全への取組に 対する市民満足度	36.8%	40%	43%

市民・事業者・滞在者の取組|







生きものや自然と ふれあう



地域の環境資源を 守る

基本目標 2 資源循環

■資源を大切にする心を育むまち

環境負荷の少ない持続可能な社会を実現するため、 資源を有効活用し、豊かな環境の恵みを享受できる「質」 を重視した循環型社会を目指します。

- 4 4Rでごみを減らす
 - ⑤ ごみを適正に処理する
- 不法投棄をなくす
- 7 水を大切にする

4	R	7

拒否 (Refuse) (Reduse)

減量

再利用 (Reuse)

再資源化 (Recycle)

環境指標 (抜粋)	現 状	目標	
市民1人1日当たりの ごみ発生量	843g/ 人•日	780g/ 人•日	780g/ 人•日
ごみのリサイクル率	27.8%	32%	34%
ごみ収集・減量化などの 取組に対する市民満足度	53.9%	57%	60%

市民・事業者・滞在者の取組



生ごみを堆肥にして 使う



資源回収に 協力する



節水する

基本目標 3 生活環境

■クリーン&グリーンを広めるまち

花と緑豊かな環境、美しい夜空・音色などの創出や、 日常生活や事業活動から発生する大気や水の汚染、騒 音・振動や悪臭などの問題をできる限り低減し、安全 で安心して暮らせる快適で健康なまちを目指します。

個別目標

** ** **

8 まちを花と緑で彩る

空気の爽やかなまちにする

🔟 美しい音色のまちにする

🕕 きれいな水と土を未来に残す

12 安全・安心・清潔に暮らす

環境指標 (抜粋)	現 状	目標	
			H38
市民グループの管理する 花壇	36 箇所	40 箇所	45 箇所
生活雑排水処理率	40.3%	47%	55%
公害防止協定 (環境保全協定)の締結数	38件	45件	50件

市民・事業者・滞在者の取組



生垣や花壇の 緑を増やす



騒音の発生を 防止する



水を汚さない



基本目標 4 地球環境

■地球のために行動するまち

地球温暖化防止を進めるため、地域社会を構成する各 主体が身近なことで今できることを自ら推進し、全ての 人が温暖化防止の活動に取り組むまちづくりを進めます。

- 13 温暖化対策を総合的に進める
- 14 再生可能エネルギーを使う
- 15 エネルギーを大切に使う

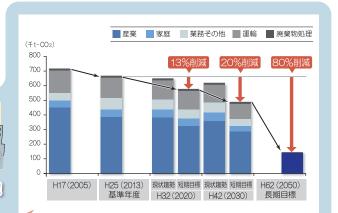
環境指標 (抜粋)	現 状	目標	
		H33	H38
家庭版環境マネジメント 参加世帯数	31 世帯/年	120世帯/年	150世帯/年
環境マネジメントシステム 取得事業所総数	51 事業所	60 事業所	70 事業所
再生可能エネルギーに よる発電設備導入件数	1,911件	2,100件	2,300件



地球温暖化により、本市でも砂浜の減少、 農作物への被害、熱中症や感染症の増加 などの影響が懸念されます。

三酸化炭素など温室効果ガス排出量の削減が必要です!

2013 年度比で 2020 年度までに 13%、 2030 年度まで に26%、2050年度までに80%の削減を目指します。



市全域からの温室効果ガス排出量の削減目標 ※「現状趨勢(すうせい)」とは、今後特に対策を講じない場合の排出量。

市民・事業者・滞在者の取組 「COOL CHOICE (=賢い選択)」を実践しよう!



エコドライブを 実践する



再生可能エネルギーを 導入する



省エネルギーを 実践する



省エネルギー製品に 買い換える

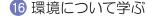


緑のカーテンを 設置する

基本目標 5 環境教育

■環境への想いをつなぎ育てるまち

環境に関する教育や情報の提供、実践活動を推 進することで、みんなが環境のことを考え、自らが 率先して行動・協働する持続可能な社会の実現を 目指します。



17 情報発信や交流を活発にする

目標 環境指標(抜粋) 21回/年 30回/年 40回/年 環境教室の開催数 環境リーダーの数 8人 10人 20人 584人 / 700人 / 800人 / 環境キャンペーンへの 参加者数

事業者・滞在者の取組|



環境に関心を 持つ



観察会や講演会などに 参加する



環境情報を 活用する

計画を進めていく主体と役割

計画を着実に推進していくため、市、市民・滞在者、事業者が様々な環境活動を積極的に実践し、さらに は協働して行っていくことが重要です。

- 環境の保全・創造について 関心と理解を深めます
- 日常生活において環境負荷 の低減に努めます
- 良好な地域環境の保全及び 創造に努めます
- 市に滞在する人、訪れる人、 通過する人は、自らのまち と同様、牧之原市の環境負 荷の低減に努めます



- 公害を防止し、環境マネジメ ントシステムの導入を行います
- ●製品の製造・流通・使用・ 廃棄時の環境影響を最小限に します
- 環境情報の公開に努めます
- 地域社会の一員として積極的 な環境保全活動を行います
- 市の施策に協力します
- 環境の保全・創造のための施 策を策定・実施します
- 環境への配慮を率先して行い
- 市民や事業者に対する支援や 働きかけを行います
- 環境情報の公開に努めます

計画を進めていくための方法

計画の推進は、Plan (計画)、Do (実行)、Check (点検・評価)、Action (見直し) の PD C A サイクルに沿って 実施し、計画の実効性と目標の継続的な推進を図るものとします。

PLAN (計画)

- 計画、目標の策定・ 見直し
- 進捗管理の設定・ 見直し



DO(実行)

- ●新たな計画・目標等達成に 向けた取組の開始
- 各主体による取組の開始



継続的 改善

ACTION (見直し)

- 計画・目標の改善・見直し
- ●進捗指標の改善・見直し
- 各主体からの意見・ 提言等の反映検討



CHECK (点検・評価)

- ●環境の状況の把握
- 計画・目標等の実施状況の把握
- 進捗指標の最新数値の把握
- ▶各主体の取組状況の把握



●エコアクション 21 の中間・更新審査 ●「牧之原市の環境」の作成・公表

「第2次牧之原市環境基本計画」の本編は牧之原市ホームページ(http://www.city.makinohara.shizuoka.jp)、 相良庁舎、榛原庁舎、相良図書館、榛原図書館、各区の事務所等でご覧ください。

第2次牧之原市環境基本計画(概要版

(平成29年3月)

牧之原市市民生活部環境課 〒421-0592 牧之原市相良275番地

TEL: 0548-53-2609 FAX: 0548-53-2889 E-Mail: shimin@city.makinohara.shizuoka.jp